

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表集計結果（公表）

公表：2022年3月31日

事業所名 上田いずみ園

職員配布数 15人 回答数 15人(割合 100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重身のお子さんがある時は、他のお子さんに対して座ってあそべるものを設定している。</li> <li>・感染症対策としては狭いと思う時もある。</li> <li>・専門職の個別指導や面談等が重なるとスペースが足りないと感じることがある。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	8	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他クラスの状況を見て、必要に応じて手伝っている。</li> <li>・個々に合わせた療育を提供するにはもう少しゆとりのある配置が必要だと思う。</li> <li>・食事介助時に職員の手が必要だと思う時がある。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	7	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重身のお子さんが安心して過ごせる環境作りは常に考えていく必要はある。</li> <li>・母子クラスの出入り口に段差があり、バリアフリー化になるとよい。</li> <li>・興奮した時の逃げ場や落ち着くための静かな場の確保に困ることがある。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15			<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ、水道が増えたことはよい。</li> <li>・クラス内で過ごすことが難しい時は別の部屋を使用することができる。</li> </ul>
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートタイマー職員の参加がもう少しできるようにしたい。</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の声を聞く機会も多く、意向を聞くことができるのがよい。</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	3		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	5		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15			<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加でき、よかった。</li> </ul>

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	2		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	14	1		・感染症の拡大によって、家庭や地域支援において、見合わせが必要となることが多かった。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	15			・いつも意識できていると思う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	6		・リーダーが担う部分も多いが、チームの一員として気づいたこと、工夫したいこと等を発信し、協力できている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1		・クラス内で活動内容について、意見を出し合うことができている。 ・固定化することで安心して参加できるお子さんもいるため、意図的に固定化することもあった。 ・月毎保護者にも提示することを工夫した。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	1		・お子さんの興味や課題に応じてグループ活動も行った。小集団活動として目的を持って取り組めた。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	2		・出勤時間の異なる職員との共有には工夫が必要となる。 ・上手くできていない部分もある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	12		・その日にはできない時もあるが、共有している。 ・勤務時間が異なるため、毎日の振り返りは難しい。 ・全職員では難しい。回覧板など必要だと思う。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15			・気づいたことは話を出すようにしているが、全職員での話し合いの時間を取るのが難しい。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15				
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15			
	㉒	母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	15			

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか。	13	2		・保護者を通しての連絡体制はある。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	11	4		・医師の指示を受け、また保護者同意を得て、医療行為を行っている。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15			・支援会議を行っている。移行対象のお子さんの園内の様子も見に来て頂いている。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15			
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害もの支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	8		・専門職には定期的に療育に加わって頂いている。 ・研修については、コロナ禍もあり少ないと感じた。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1	11	3	・コロナ禍のため、交流を予定しても見合わせる事となった。 ・現在の状況では難しいと思える。 ・移行するお子さんも相手先園との状況確認が必要となるため頻繁には行えない状況にある。 ・同法人保育園との交流が定期的実施できるとよい。
	㉖	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	7	1	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15			・連絡帳や登降園時に伝え合えた。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	7	1	・個々への家族支援は行っているが、継続プログラムの内容や保護者勉強会など、もっと工夫できるとよいと思う。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	3		
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15			
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15			・相談によってはすぐに面談日を設けられるよう工夫されている。 ・必要があれば他の人にもつなげていけると思う。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15			・コロナ禍のため、集まることができず、全体にお知らせする形が多くなってしまった。 ・通年通して支援できている

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	15			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16			・わかりやすい、見やすいお便りだと思う。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	16			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	1		・写真を見せたり、園の様子が分かりやすくお伝えできている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	10	3	・感染対策のため、行事を見直したり、外部の方の参加を控えてもらったりしている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2		・通報訓練や、消火訓練、危険箇所点検、自家発電機確認等定期的に行っている。 ・訓練の機会を増やし、発生時には行動できるようにしていきたい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。	15			・クラス内だけではなく、全体で把握していくことが大切。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	15			・除去食の内容を明記したものや、食器の色を変えるなど対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	15			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15			・職員会を利用して、研修することができる。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	6		